

「車いす空の旅 北海道」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会（県遊協関根貞雄理事長が会長を兼務）は、神奈川県新聞厚生文化事業団などが主催する「車いす空の旅事業」に、今回も支援とともに県遊協職員がボランティアとして参加し、障害者、ご家族の方々にも楽しんでいただきました。

1. 日 時	平成 22 年 9 月 9 日（木）～ 11 日（土）
2. 場 所	北海道（阿寒湖・摩周湖・阿寒国際ツルセンター ほか）
3. 主 催	神奈川県新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参加者	肢体障害者 19 名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢 69 名
5. 概 要	<p>神奈川県新聞厚生文化事業団では、車いす生活をおくる障害者とその家族を対象に、毎年 4 月は沖縄、9 月には北海道と飛行機を利用して訪れています。</p> <p>普段車いす生活をおくられている方やご家族にとって、「旅行をすること」は非常に大変なことです。</p> <p>健康の問題もさることながら、観光バスや飛行機は車いすに乗ったままでは乗れませんし、トイレやお風呂についても介助が必要です。</p> <p>この旅行では、航空会社やホテル、またボランティアの協力により問題点をクリアしこの事業を支えています。</p> <p>参加者のご家族の方は「（車いすの）この子と一緒に飛行機で北海道を訪れることができるなんて、本当に夢のようです。」と、摩周湖の湖面に映った緑の山々を眺めながら感慨無量な面持ちで話されていました。</p> <p>なお、この「車いす空の旅」については、9 月 10 日付及び 9 月 12 日付神奈川県新聞にそれぞれ掲載され、9 月 24 日には神奈川県新聞の特集ページで紹介される予定です。</p>



晴れ渡る摩周湖。澄み切った湖面に感激



特別天然記念物のタンチョウを見学

※ この活動は、第 4 回（平成 20 年度）社会貢献団体機構の組合部門優秀賞を受賞しております。

<http://www.ajosc.org/report/pdf2008/P086-P087.pdf>